

▶▶ 気候変動問題の解決に向けた取り組み

● 東海理化におけるリスクと機会の認識

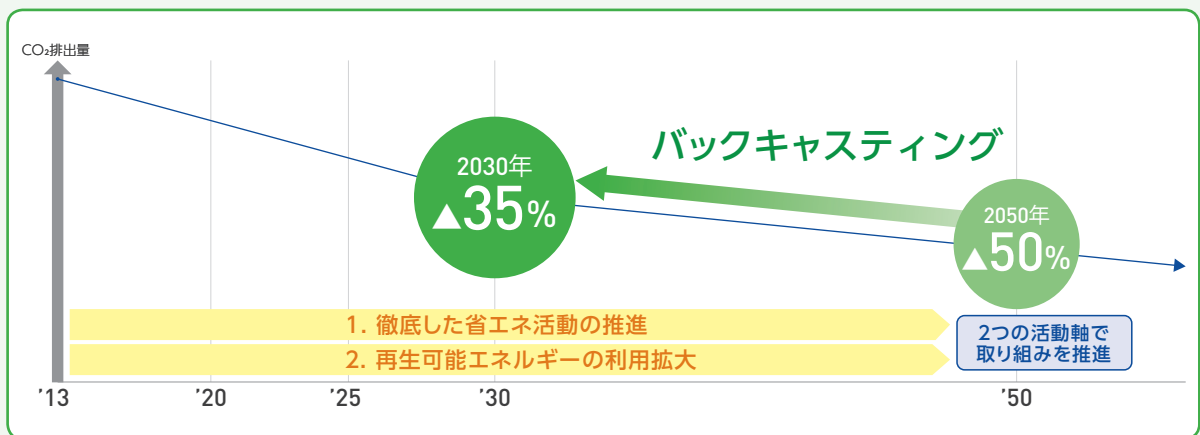
気候変動問題がもたらすリスクは、製品の開発設計から調達・生産・物流・販売まで、企業活動全般に渡って存在しています。このため、全社環境委員会をはじめとする会議体にて気候変動関連のリスクや機会についての議論を行い、長期や短期の対応策を決めて取り組みを進めています。

想定されるリスクとして、異常気象による災害リスクがもたらす生産影響、炭素税・省エネルギー規制などによるコスト増などが挙げられ、それらは販売機会の損失、事業活動の停滞につながる可能性があります。その一方で、迅速にリスクへ対応することで、気候変動問題への解決に貢献するとともに、事業の持続可能性や販売機会の創出を高める機会につながると認識しています。

東海理化グループでは、グループで一丸となって環境活動を推進し、リスクと機会へ対応を図るとともに、気候変動問題の解決に貢献するため、CO₂低減の長期ビジョンを策定し、計画的に活動を進めていきます。

Action | CO₂低減長期ビジョン

東海理化グループでは2050年をターゲットとし、CO₂排出量半減の長期低減目標を設定しています。2050年の目標からバックカスティング(未来の目標から今何をすべきか考える方法)により、2030年のあるべき姿として中期目標▲35%を設定しました。目標達成に向け、CO₂低減アイテムを積重ね、着実に取り組みを進めています。



1. 省エネ活動

事業活動で使用するエネルギーを削減するため、省エネ改善によりエネルギー使用量のミニマム化を進めています。

生産工程での省エネ

- エネルギーのJIT(ジャストインタイム)化推進
- 低CO₂生産技術の開発推進

建設・原動力設備の省エネ

- 省エネ配慮設計
- 高効率化
- エネルギー転換

エネルギーマネジメント

- エネルギー使用量の見える化推進

2. 再生可能エネルギーの利用

東海理化グループでは2040年までに再生可能エネルギーの利用率20%以上を目標とし、計画的に導入を進めていきます。

